

提案書要約

- 1事業名大丸有エリアを起点とした循環型ライフスタイル体感プログラム
- 2応募者名大丸有SDGs ACT5実行委員会
- 3内容

(1) 目的・位置づけ

約5,000事業所が集積し、約35万人が働く大丸有エリアでは日々たくさんのエネルギーや資源が消費されていることから、企業単体ではなく、街として環境負荷をいかに低減していくかが重要な課題である。大丸有SDGs ACT5では、持続可能な社会の実現に向けて、「リユース」「リペア」「アップサイクル」などの循環型ライフスタイルを気軽に体験・学習できる場を提供し、大丸有エリアを中心とした企業・団体・個人が一体となって資源循環に取り組む姿を発信することで、就業者・来場者の意識と行動変容を促し、社会全体でのサステナブルなまちづくりを推進する。

(2) 取組内容

①資源循環を体感できるワークショップ ⇒廃棄物を活用することで「3R」を意識したライフスタイルへ



大丸有エリアで回収したペットボトルキャップを用いたワークショップ



規格外で廃棄されるロスフラワーを利用したフラワーアレンジメントワークショップ



洋服等のリペア・リメイク体験ワークショップ

②循環型ライフスタイルを実践できるブース ⇒実際に循環型の消費行動を体験できる機会を創出



衣類等のリペアサービスの受付

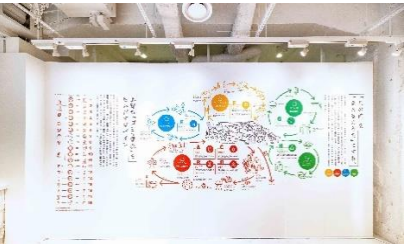


古着回収BOXの設置



アップサイクル商品の展示・販売

③大丸有エリアの資源循環のビジョン発信 ⇒街のサステナビリティを推進



「サーキュラシティ丸の内」の取り組みや将来像を発信



循環をテーマにしたショートムービー

④その他



循環をテーマにしたショートムービー

(3) 本事業において期待される効果

循環型ライフスタイルを気軽に体験・学習できる場を提供することにより、大丸有エリアの就業者・来街者の意識向上と行動変容を促す。また、大丸有エリアを中心とした企業・団体・個人が一体となって街ぐるみで資源循環に取り組む姿を発信することにより、社会全体でのサステナブルなまちづくりを推進する。

(4) 本事業の実施体制

(主催) 大丸有SDGsACT5実行委員会



(全体監修・ビジュアル制作)



(イベント運営協力)



(5) スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月	1月
下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬
企画調整		設置準備	10/30-31 開催	結果の集約	成果物提出
告知物制作		告知・集客		成果物作成	

(6) 関連する取組実績

大丸有エリア内の約50店舗の飲食物販店舗と連携し、エリア内での資源循環に資する活動（マイボトル・エコバッグ利用や資源回収等）に個人が参加した場合に、エリア内で展開している丸の内ポイントを付与する活動を実施（毎年5月～11月）。来街者や就業者にとって、普段使いしているポイントが貯まることにより、SDGsアクションを気軽に行いやすくなり、日常的に継続するサイクルを創出。街ぐるみで資源循環の取組みを推進する。

※2024年度延アクション人数は約28,000人（5～11月活動実績）

